

は じ め に

放送教育開発センター

昭和59年6月に東京工業大学の坂元昂教授を委員長として「教師教育教材の研究開発に関する企画委員会」が本センターにおいて発足した。この委員会は国立大学教育工学センター協議会、全国私立大学教職課程研究連絡協議会及び東京地区教育実習研究連絡協議会に所属する国公立大学の教員が自主的に組織した「教師教育メディア開発研究会」と本センターが連携協力して、教師教育の新しいメディア教材の開発と研究を行うものである。

本書は、この教材制作の企画、経緯、ビデオ教材の領域および内容の必要度調査、制作者の視点、試作教材の制作、視聴シンポジウムと評価の各段階にわたる報告書である。昭和60年度は必要度調査の結果に基づき、教育実習の事前指導のためのビデオ教材として「教育実習の日々」小・中・高校編、「実習生の授業」、「ある教師の授業」が制作され、全国的に市販されるようになった。さらに、これに引続き、教育実習の意義シリーズ、授業研究シリーズ、教育機器シリーズ、生徒指導シリーズなどの制作計画が進行している。これらは「教育実習で実習生が体験する状況を生の姿で伝える」ことを目標にして制作されている。このような具体的な視聴覚教材を提供することによって、実践的な教師教育の発展に寄与することを期待し、各方面からの今後のご指導とご協力をお願いするものである。